

# 地域づくり団体 研修交流会



ぐんまのまちづくり講演会 .....



## 「地域づくりに 賭ける仲間達」

渋川広域まちづくりネットワーク協議会 会長 下田 健二さん

### まちネットの活動

渋川広域まちづくりネットワーク協議会の下田です。会の名前が長いので、我々は通称「まちネット」と呼んでいます。今日は、地域づくりに賭ける仲間達という題で、少し話をさせていただきます。

平成18年2月に6市町村が合併して渋川市が今の形になりました。この新しい渋川市の誕生に先がけ、合併する6市町村の各地域が交流を持ち、新しい市の体制に臨んでいくということ、平成17年にこの「まちネット」が設立されました。

「渋川広域圏は、6市町村の合併により大きく変わることになりますが、それぞれの地域が有する固有の伝統・歴史・文化は共有の財産として引き継がなければなりません。そのために、地域住民お互いが理解し合いながら親睦を深め、連帯と融和を図って新しいまちづくりを展開することが肝要です。私たち

は渋川広域まちづくりネットワーク協議会の設立を機に、渋川広域圏の更なる発展を目指した活動を推進いたします。」このような活動宣言の下、まず、まち巡り委員会を立ち上げ、各地域の伝統・歴史を知るために、それぞれの地域の寺社等を巡るとともに、その地域の人との交流を深めました。その後、名産であるこんにやく作りの講習会や北橘の竹を使った竹細工教室、また、グランドコンサート in 渋川というイベントや、今年で10回目となる渋川地域の農産物・畜産物を使った、食談会 in しぶかわ等を開催してきました。



### 地域づくりの役割

ここで地域づくりの役割について考えてみたいと思います。私は地域づくりには3つの役割があると考えています。

1つ目は、その地域の伝統・歴史をしっかりと学び、次世代の子ども・若者たちに伝えること、つまり人づくりです。

2つ目は、地域経済を活性化して豊かな地域を作ることです。これは行政と事業主・企業との連携という形で出来てくると思いますが、この少子高齢化が進んだ日本では、分け合うパイがどんどん小さくなってきています。そういう中で、自分達だけが良ければいいという時代はもう過ぎていると思います。お互いに譲り合って、パイをしっかりと育てていくことが必要だと思います。それには、それぞれの地域のアイデア・知恵が肝要かと思えます。

3つ目の役割は、これから少子高齢化が進み、高齢者が大変増えていきますが、いわゆる社会的弱者が健常者と同じ生活が出来る温かい地域をつくることだと思います。

### これからの地域づくり

群馬県、あるいは渋川市には地域づくりの資源が沢山あります。各地域には遺跡が多くあり、素晴らしい山、川があります。自然や温泉、農産物、畜産物、どれも素晴らしいものです。また、世界でオンリーワンの製品を持つ工場もあります。これらはすべて地域づくりの核になり得るものです。

群馬県や渋川市は観光を目玉にしていますが、原点は地元なのではないでしょうか。200万人の県民の半数が伊香保を1回使えば100万人になるわけです。「地元を大事にする」これがお客さんを呼ぶ近道だと思っています。地元の人が「伊香保は良いよ」「伊香保のおもてなしは素晴らしいよ」と言うことが、リピーターを増やす原点であると思います。ですから、皆様方もぜひ地元を大切に、地元を誇りを持っていただきたいと思っています。

地域づくりの団体については、それぞれの団体でストーリーを持つことが成功の一番大きな秘訣だと思います。各団体は自分達の中でストーリーをしっかりと作り、それに向けて進んでいくことが肝要だと思います。

我々とここにいらっしゃる皆様をはじめ、地域づくり団体の皆様は、一人一人本当に輝いております。その輝いた人から、輝きの地域ができ、そしてその輝いた地域が輪になって、市を、町を、県をしっかりと作りあげていくということになるかと思っています。地域づくりは人づくりであり、そしてまた、市・町・県、あるいは日本を創る原点になっていくのだと思います。これからも輝いて、一生懸命地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。